

SUPER STRIKE BASSING

バスがすれた、といわれます。

数が釣れなくなった、といわれます。

ストラクチャーバッシングの追求に記録争いの白熱化が重なり合って、バスの隠れ家を容赦なくあばきたてて、攻めぬいた結果だと、いっていいのかもしれませんが。

日本のバスポンドは、人造湖が圧倒的に多いのだから。山の谷間をせき止めた湖が、大半を占めてるのだから。やたらに深いし、砂底の浅場が少ししかないのだから。岸辺のほとんどが、急深な駆け上がりなのだから。ほんとうのところ、バスにとっては決して棲みやすい環境ではないのです。豊かな釣り場ではないのです。だから。いまこそ。

数を楽しむのではなく、記録争いに熱中するのではなく、1回1回のゲームを、大切に味わおうではありませんか。トップウォーターでも、シャローでも、ボトムでもいい。ストラクチャーを究め。スポットを見抜き。

狙い違わずキャストし。プラグの個性を生かしきった、微妙な、魅惑にみちた演出でバスを誘い。

焦らせて、焦らされて。待たせて待って、待たされて。思惑どおりに、けれども、突然、衝撃的にやってくる、あの、心臓が破れそうになり、膝がガクガクしてくる。

SUPER STRIKE!

それを、正確に読みぬく触覚と、確実なタイミングでがっちり乗せ、ファイトを楽しみ、決してばらさない。プロセスを楽しむバス釣りを、しようじゃありませんか。

同じトップウォーターでも 自然湖はロッドに距離を求める。

朝まずめ、夕まずめ、バスがより水面近くまで浮上してきて、ごく浅いところの水底、つまり駆け上がりの岸辺近く、あるいは辺地いっぱいにある、オブジェクト、障害物の陰に身を潜めつつ、餌を取ろうと待ち伏せている。

そんなバスを、水面だけしか演技しないプラグで誘い出し、水面に跳び出させて、衝撃的なそのストライクを、触覚だけでなく、眼でも耳でも味わおう、という、じつに欲ばったゲーム。トップウォーターバスニング。

GO-102 ●トップウォータープラグギング for Topwater Plugging

- 6½フィート・ルアー:10・2lb・ライン:8~15Lb.
- 2ピース・グラファイト [47.5g] 32,000円

20メートルから30メートルに及ぶロングディスタンスの沖合いから、スポットに向かって重いプラグを軽々と運ぶための、強いトルクを秘めた、スローテーパーの長いロッドです。トップウォータープラグの、うごめくようなデリケートなウォーキングザドッグアクションにも、このスローテーパーのロッドティップが有効。グラファイトの材質が、長さによるウエイトの負担を軽くし、ストライクを取りやすくします。

GO-103 ●トップウォーターミノーイング for Topwater Minnowing

- 6½フィート・ルアー:5~10g・ライン:6~12Lb.
- 1ピース・グラファイト [49.5g] 32,000円

このところ、どこのバスポンドでも、バスがすれたといわれます。自然湖でも、それは例外ではありません。そうすると、トップウォーターバスニングでも、より小さく、より軽いプラグの使用、あるいはミノーの使用機会が、ふえてきます。軽く、空気抵抗を受けやすいミノーをロングキャストするために、スムーズな力の抜けをとくに工夫した、6½のロングロッド。GO-102よりは、バットの張りが少し強いのが特徴です。

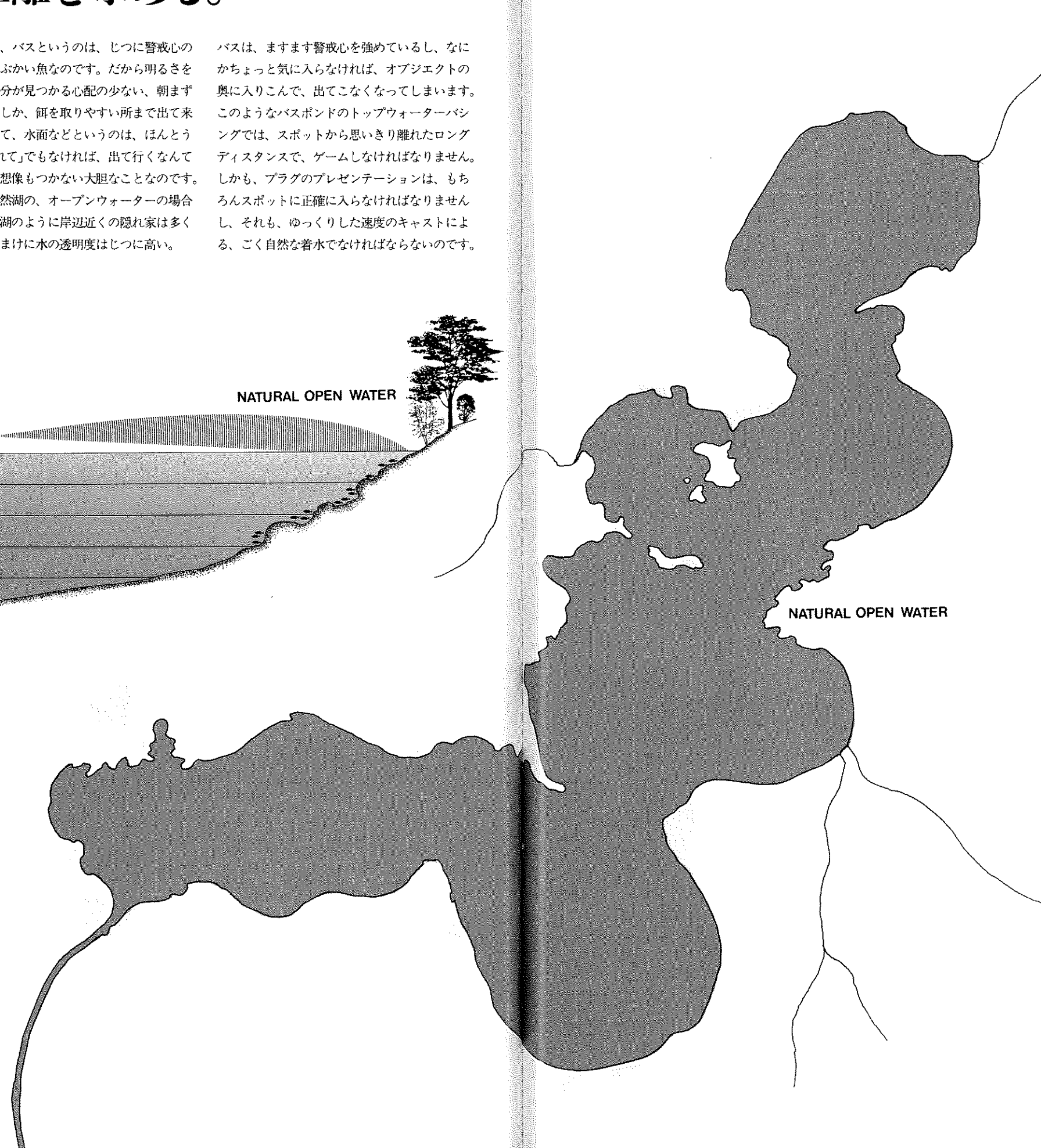
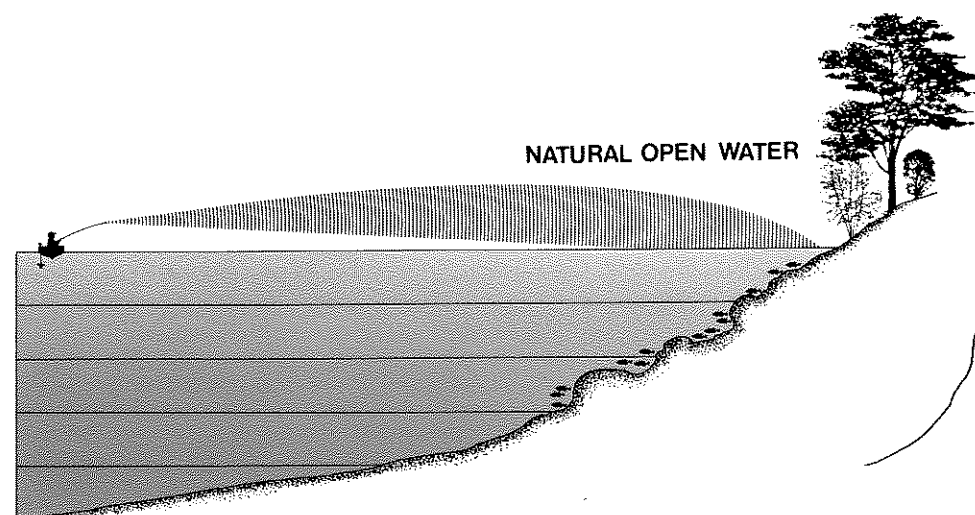
SC-1 ●トップウォータープラグガー for Special Long Cast

- 6½フィート・ルアー:5~14g・ライン:6~12Lb.
- 1ピース・カーボイト [47g] 39,800円

GO-102は、ゆるゆると、重いプラグをゆっくりしたスピードで飛ばし、ポトンと自然な感じで着水させるのには、この上もなくいい味を発揮するロッドではあるのですが、そのかわり、使いこなすには技術が要ります。ことに厳しいスポットへの正確なプレゼンテーションが、ややむずかしい。その課題を、カーボナイトの材質が解決しました。同じスローテーパーなのに、もっと力の抜けがよく、精度が高まりました。

しかしまあ、バスというのは、じつに警戒心の強い、用心ぶかい魚なのです。だから明るさを嫌うし、自分が見つかる心配の少ない、朝まずめ夕まずめしか、餌を取りやすい所まで出て来ない。まして、水面などというのは、ほんとうに「我を忘れて」でもなければ、出て行くなんてかれらには想像もつかない大胆なことなのです。ことに、天然湖の、オープンウォーターの場合には、人造湖のように岸辺近くの隠れ家は多くないし、おまけに水の透明度はじつに高い。

バスは、ますます警戒心を強めているし、なにかちょっと気に入らなければ、オブジェクトの奥に入りこんで、出てこなくなってしまう。このようなバスポンドのトップウォーターバスニングでは、スポットから思いきり離れたロングディスタンスで、ゲームしなければなりません。しかも、プラグのプレゼンテーションは、もちろんスポットに正確に入らなければなりませんし、それも、ゆっくりした速度のキャストによる、ごく自然な着水でなければならないのです。



自然湖のオープンフィールドの、トップウォーターバスニングの魅力とは、なんといっても、ロングキャストのプレゼンテーションを、みごとに決めて、スポットへ狙い違わず、しかも大きめのプラグを、ポトン、とごく自然な感じに着水させる、そのだいたいにある、といってもいいのじゃないでしょうか。

決してそれは簡単なことではありませんし、卒直にいうと、そのような技術の修得が必要なこともたしかです。

ことに、スピニングリールによるこのようなプレゼンテーションは、この道具の取っつきやすさとは裏腹に、意外に、デリケートな秘術を要求します。ことに、サミングによる着水位置の微調整が、むずかしいのです。

でも、それをマスターするだけのことが、スピニングにはあります。

なんといっても軽快な使い勝手、利き腕による微妙なプラグ演出の可能性。それになによりもバックラッシュの心配をしないで、夕まずめのゴールデンタイム、正確なプレゼンテーションとデリケートなプラグ演出に没頭できること。これは何物にもかえかたい、貴重な価値です。

GS-65M ●トップウォータープラグギング for Topwater Plugging

- 6½フィート・ルアー:7~17g・ライン:4~10Lb.
- 2ピース・グラファイト [85g] 33,500円

頻繁なキャストの繰り返しと、プレゼンテーション精度への配慮から、ベリーからバットにかけての腰の張りを持たせたスローテーパーロッドになっています。スピニングロッドのくせに、やや重めのプラグまで十分に安心してキャストできるのは、そのせいなのです。狭いボートの2人乗りによるバスニングには欠かせないオーバーヘッドキャストも、このロッドなら、みごとにのけられるでしょう。

GS-70M ●トップウォータープラグギング for Topwater Plugging

- 7フィート・ルアー:7~17g・ライン:4~10Lb.
- 2ピース・グラファイト [105g] 36,200円

7フィートという長さは、ふつうのトップウォーターバスニングでは要らない、とお考えになるかもしれませんが、ともあれいちど、実際にプラグをキャストしてみてください。このロングスローテーパーが、いかに軽いプラグを遠くへ飛ばすことに適しているか、よくわかります。グラファイトだから、これだけ長くても持ち垂りがなく、長い時間、使えます。トップウォーターブラウン、シーバスニングなどにもどうぞ。

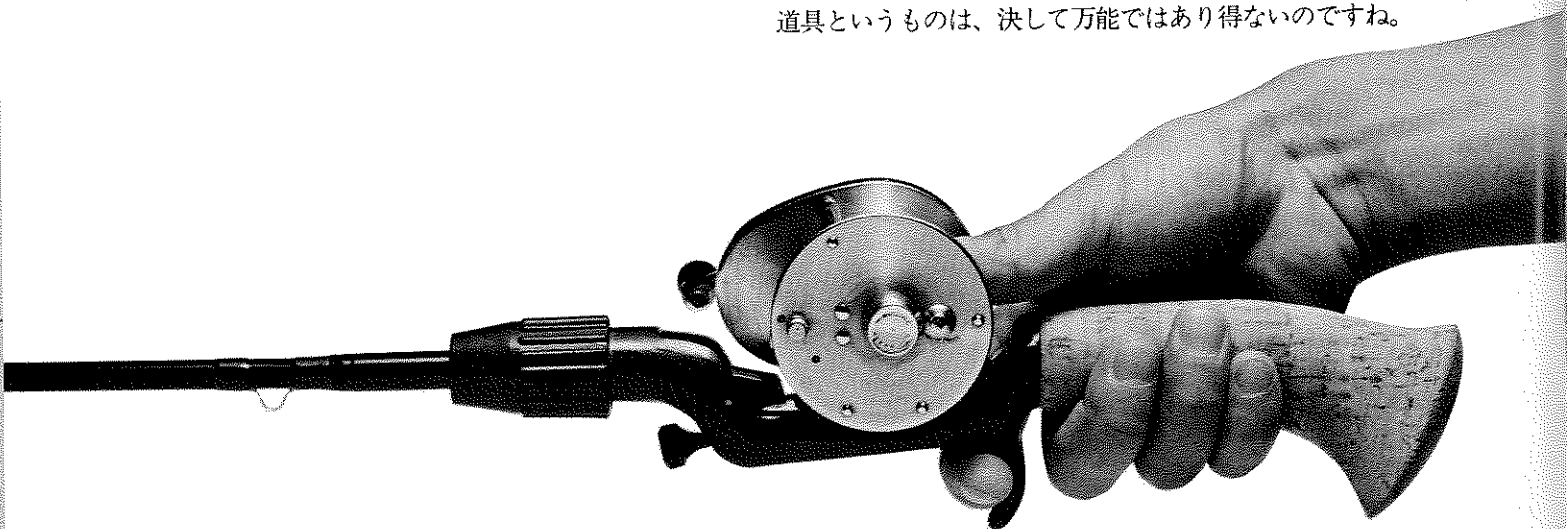
SUPER STRIKE BASS RODS

スーパーストライク ロッドの基本思想

バスフィッシングは、知恵と知識のゲームであると同時に、あくまでも、身につけた技術を駆使するゲームでもあるのです。

どんなにストラクチャーを研究しぬいても、それだけでは、決してスーパーストライクは楽しめません。ゲームの本質をきわめるバサーであるためには、技術に磨きをかけねばならない。バスフィッシングの楽しみは、秘術の取得とともにこそ、深まるのです。バスフィッシングは、ロッドとリールとルアーを使うゲームです。技術を磨く、とは、道具をみごとに使いこなすということです。同時にそれは、「正しい道具を選んで、使う」ことでもあります。いやむしろ、技術を駆使する。ということで、いちばん重要なのはこの部分だ、と、いい切っていいのかもしれませんが。道具というものは、決して万能ではあり得ないのですね。

ゲームのフィールド、ゲームの内容が、道具に対して、それぞれ、異なった機能と性能を要求するものだからです。さらにいえば、1つのゲームフィールド、1つのゲーム内容でも、使い手が求める諸条件の中に、たがいに矛盾しあうものがある。道具の作り手は、もちろん、そういった矛盾を、できるだけ高いレベルで調和させようと、努力しながら制作するわけですが、しかし、最も力を注ぐのは、自分たちが最も重視している条件を充たすことであるのは、いうまでもありません。それが、道具それぞれの個性を生み出しているわけでしょうし、また、個性のすぐれた道具ほど、単能である場合が多いのです。私たちのスーパーストライクロッドも、その例にもれません。これは、「バスフィッシングを楽しむ」ためのロッドです。それぞれのゲームフィールドでの、それぞれのゲームの、プロセスを楽しみながらバスフィッシングする。それが目的の設計です。だから、設計意図に合ったフィールドで、設計意図に合ったゲームに使われれば、きっとあなたを満足させるかわり、意図に合わない使い方をすれば、まったく使いにくいロッドになる。自分はいま、どんなゲームをどのフィールドでしようとなさっているか。まず、それをはっきりお決めになってから、目的に最も合ったスーパーストライクを、どうぞお選びください。



● スーパーストライク・ダブルハンドル
GL-62H



● スーパーストライク・セミダブルハンドル
FL-59・FL-59H・GW-61



● スーパーストライク・シングルハンドル
GO-102・GO-103・FO-60・FO-55L・GC-60UL・GC-60・GC-55
SC-1・SC-2・SC-3



● スーパーストライク・スピニングハンドル

同じボトムでも、 使うルアーがロッドを変える。

バスが、明るい環境に身をさらけ出すのを、じつに嫌う魚であることは、ご存じのとおりです。たとえ水温がかれらに最も好ましい状況のときでも、晴れた日、水面に直射日光が当たる日中は、3m以上はある水底の、光や倒木や立木の、ストラクチャーの陰に潜んでしまいます。プランクトンが死滅して、水が急に透明になってきたときも、同じこと。雨が激しく降って、水温が急に下がってもそうなるし、水温が14℃以下

になれば、もちろんそうなります。あるいは、水位が急に増減したりする。それだけでも、バスは隠れ家に潜んでしまう。それだけでなく、バスは成長するにしたがって、隠れ家からあまり出たがらなくなるし、用心ぶかく、行動範囲もぐんと狭くなるのです。ということであれば、朝まずめ夕まずめを除いた、日中のほとんどは、バスと実のあるゲームをしようと思ったら、と

もあれ、バスの隠れ家を見きわめて、そこに近づく以外に方法はないわけです。それも、プラグが単にその近くを通過するという程度ではなく、活性を弱めているかれらにも強い関心をよみがえらせるように、ジグやスピナーベイトやワームに、かれらの目の前で、かれらがひとつとび跳びかかればとどいてしまう距離で、かれらの心を惑わす魅力のある微妙な演技をくりひろげる。これ以外にないのです。

GC-60 ● ミッドウォーター for Spinnerbaiting & Jigging

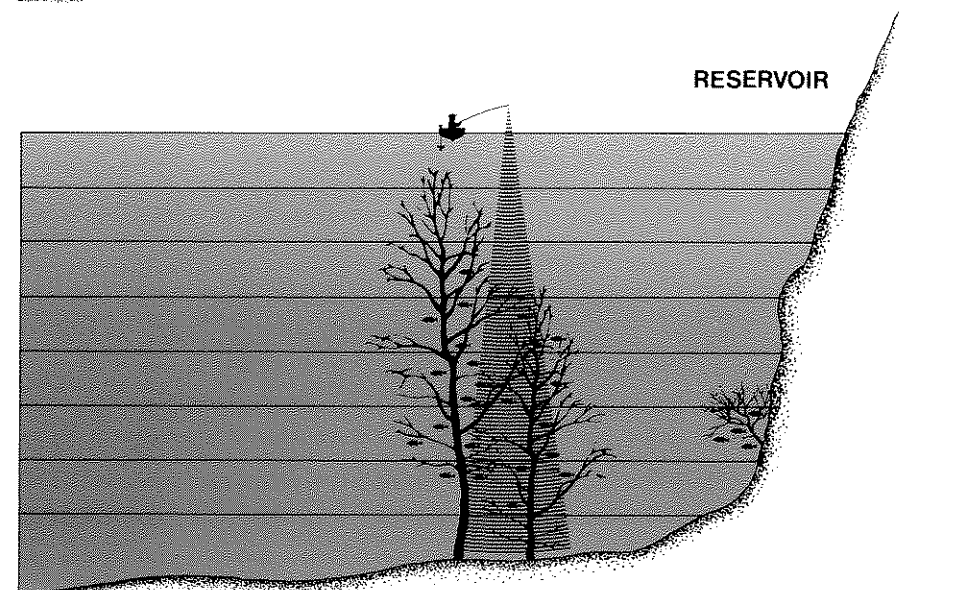
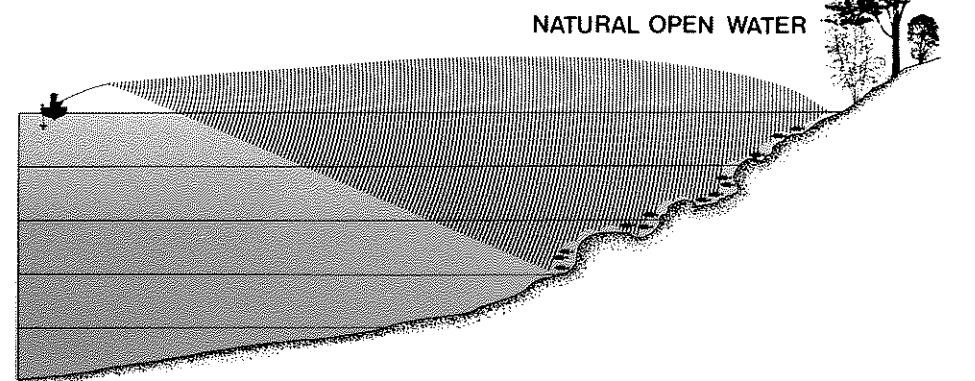
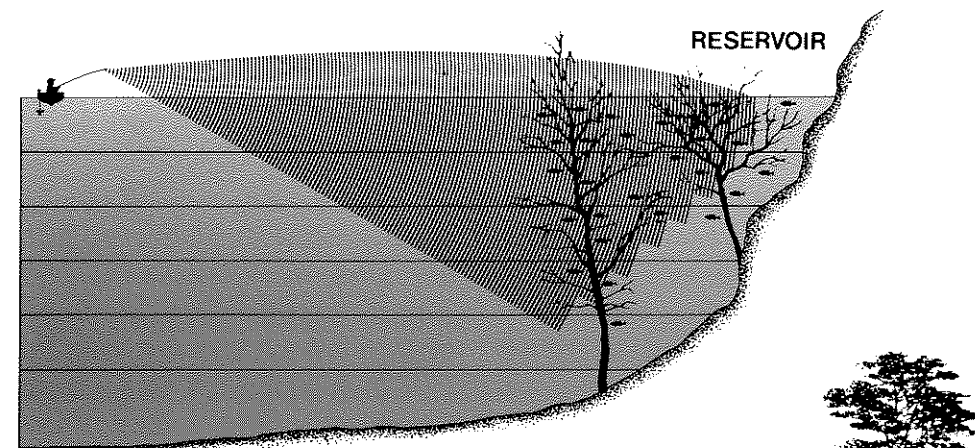
● 6 フィート・ルアー：10-21g・ライン：10-20Lb
● 1 ピース・グラファイト (58.5g) 31,500円

同じように落しこんでは引き上げる「リフト&ドロップ」の演技でも、ジグはより垂直的なアクションになるし、スピナーベイトはブレードの推力がついて、多少移動しながらの上下になる。ともあれ、このアクションを微妙な演技にさせるためには、ロッドにしなやかさが不可欠です。バスは、スピナーベイトやジグの上下運動の、どんなところでも、不意に跳びかかってきます。その突然の攻撃を、ロッドに伝わってくる振動を通して、瞬時に感じるチップの鋭敏さと、即、ぐいとポンピングして、ストライクをとれるバットの強さが要ります。だから、グラファイトで、ファストテーパーになっています。

GW-61 ● パワフルワーミング for Worming

● 6 フィート・ルアー：5-10g・ライン：10-25Lb
● 1 ピース・グラファイト (60.2g) 32,500円

ワームは本質的に、ジグやスピナーベイトよりもっとボトムに密着して、多彩な演技をします。ワームに来るストライクは、どうしても、ジグやスピナーベイトの場合より小さいのです。その微妙なあたりを確実にキャッチし、しかもバスに異和感を与えないためには、チップはさらに繊細で、高感度でなければなりません。しかも、フックの先端がワームに埋めこまれて。だから、フッキングはいつそう強列になります。それに耐える、いちだんと強いバットを持っているので、当然キャスティングディスタンスは落ちるわけで、それを補うために、このロッドのハンドルは、セミダブルになっています。



同じミッドウォーターでも ゲームの形がロッドを変える。

ミッドウォーター、という言葉を使うと、いかにもバスが、湖の中層を遊泳している魚のように思わせます。

そうではなくて、バスは水底の、といってもせいぜい水深7mぐらいまでのところが多いのですから、駆け上がりの部分がほとんどなわけですが、ストラクチャーの陰に潜んでいる、いわゆる根付魚なのだという事は、ご存じのとおりです。

誤解を招きそうな言葉を使って、申しわけないと思っています。

ただ、ゲームの内容を考えると、ここではやはり、ミッドウォーターという言葉が、いちばん適切なですね。

クランクベイトであれ。ディープダイバーであれ。シンキングバイブレーションであれ。

いずれも、水中に潜って、バスの隠れている所に近づいて、その目前を通りすぎながら、その動きと、発信する振動で、バスを誘う。

そういうゲームなわけですから、駆け上がりの「水底」すれすれではあっても、やはりミッドウ

ォーターではあるのです。

だから、沖合いのミッドウォーターでは、ゲームはしません。

ただし、ひとつだけ、例外があります。人造湖の、水中に沈んでいる立木が、岸辺よりもやや沖合の水中に、枝を張っているときです。そういう枝というのは、絶好の隠れ家となるわけで、バスのふだんの生活圏である水底のストラクチャーからはだいぶ離れた水中ではあっても、バスはつくのですね。

「バスは木に生る」という格言が、生まれるのもこういうわけなのです。

沖合いに浮いている流木の下や、繫留されているボートの下にバスが潜んでいたたりするのも、同じ習性のあらわれといっているでしょう。

バスのこういう習性を考えると、根付魚というのは、ほんとは正確ではないわけで、むしろ障害物志向魚=Object Oriented Fish と呼ぶべきだと、最近はいわれています。

Object というのは、Structure の別な表現にすぎないのではありますが、どうやらこの言葉

のほうが、よりバスの習性を的確に捉えているような感じがしますし、根付魚感賞から解放されやすい気がします。

ともあれ、Object 障害物の陰に潜んでいるバスに、より積極的に近寄ってゲームをするために存在する、プラグたち。

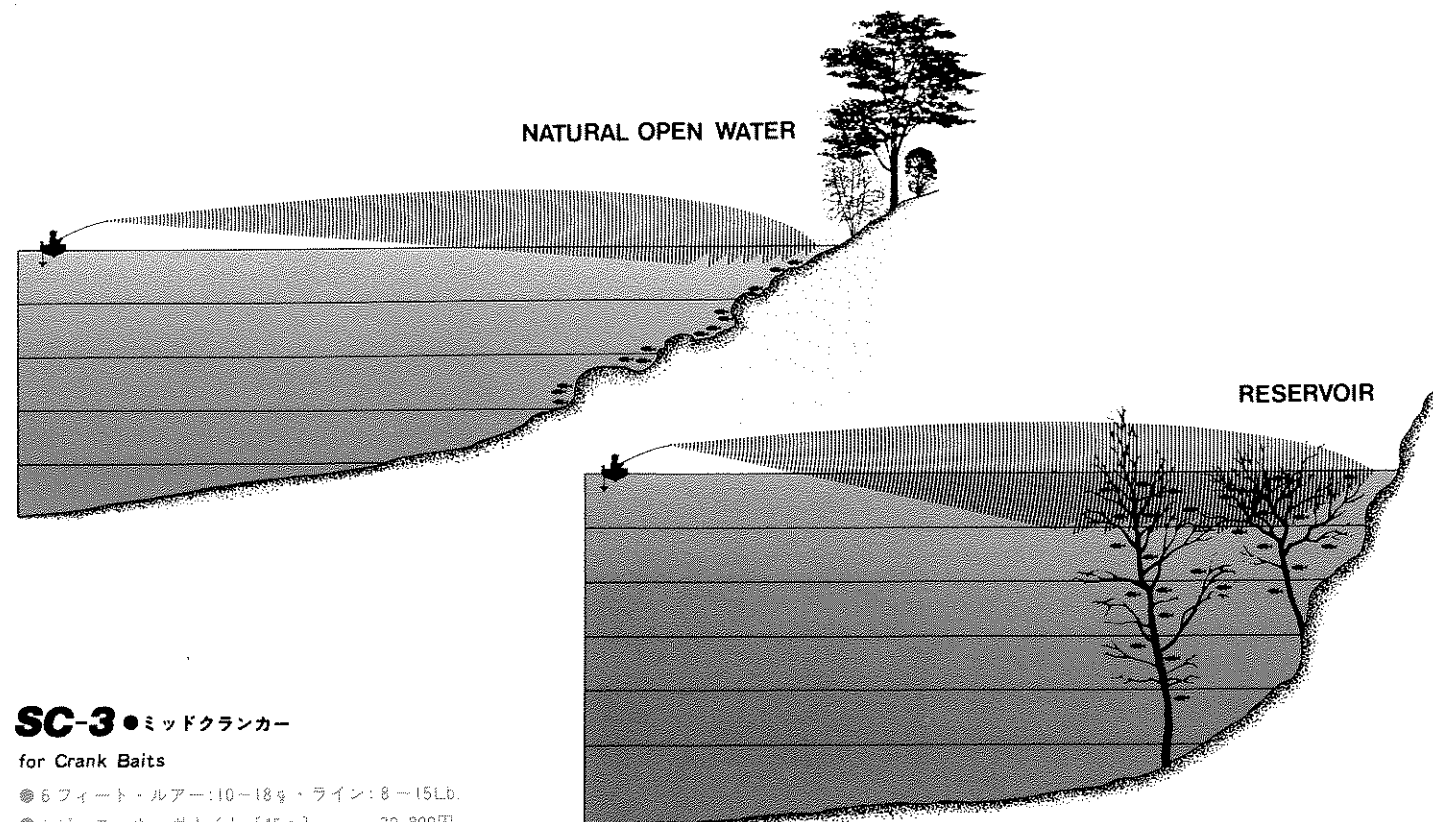
クランクベイト。ディープダイバー。シンキングバイブレーション。

それぞれが活動する範囲、つまり深さは、じつのところそれほど大きな差はありません。

ディープダイバーが4mぐらいまでは潜るものの、クランクベイトもシンキングバイブレーションも、活動の主な舞台は、1~2mといったところ。

むしろ、違いは、それぞれのプラグの性格の違いから必然的に生まれてくる、アクションの違い、役割りの違い、演技の違い、にあると考えたほうがいいかと思います。

もちろん、いずれも小魚です。ただし、それが餌に見える小魚なのか、小癩な侵入者に見える小魚なのか。さあ、あなたはどの演出します？



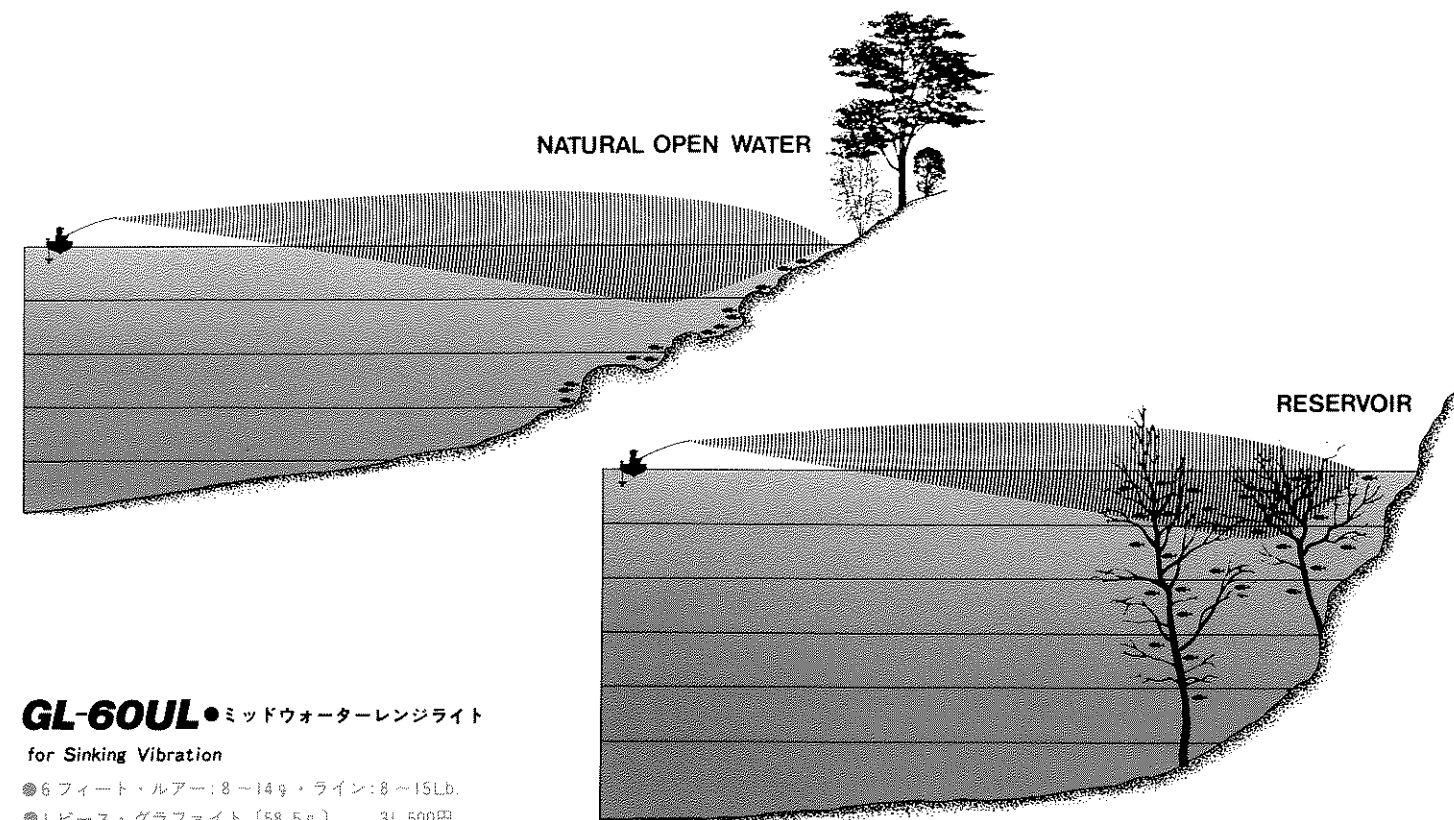
SC-3 ● ミッドクランカー for Crank Baits

● 6 フィート・ルアー: 10-18g・ライン: 8-15Lb.
● 1 ピース・カーボナイト [45g] 39,800円

プレゼンテーションしたら、まずはプラグの潜水能力いっぱいまでぐいぐい潜らせ、こんどはその強い浮力を利用して、急速にふわふわと浮かび上がらせる。このストップ&ゴーの不規則な演技パターンが、バスを誘うわけです。

なにしろファッツなボディですから、ぐいぐい潜らせるにはベリーからバットにかけての腰が要りますし、水中でのストライクを敏感に伝えてもらうために、ティップの繊細さが欠かせません。しかし、といってあまりファストテ

パーのロッドになると、せっかくのクランクやバイブレーションをはねつけてしまうし、ついには潜水能力すら消してしまいます。ですからテーパーは、ミディアムファスト。そのかわりカーボナイトが腰の張りを補っています。



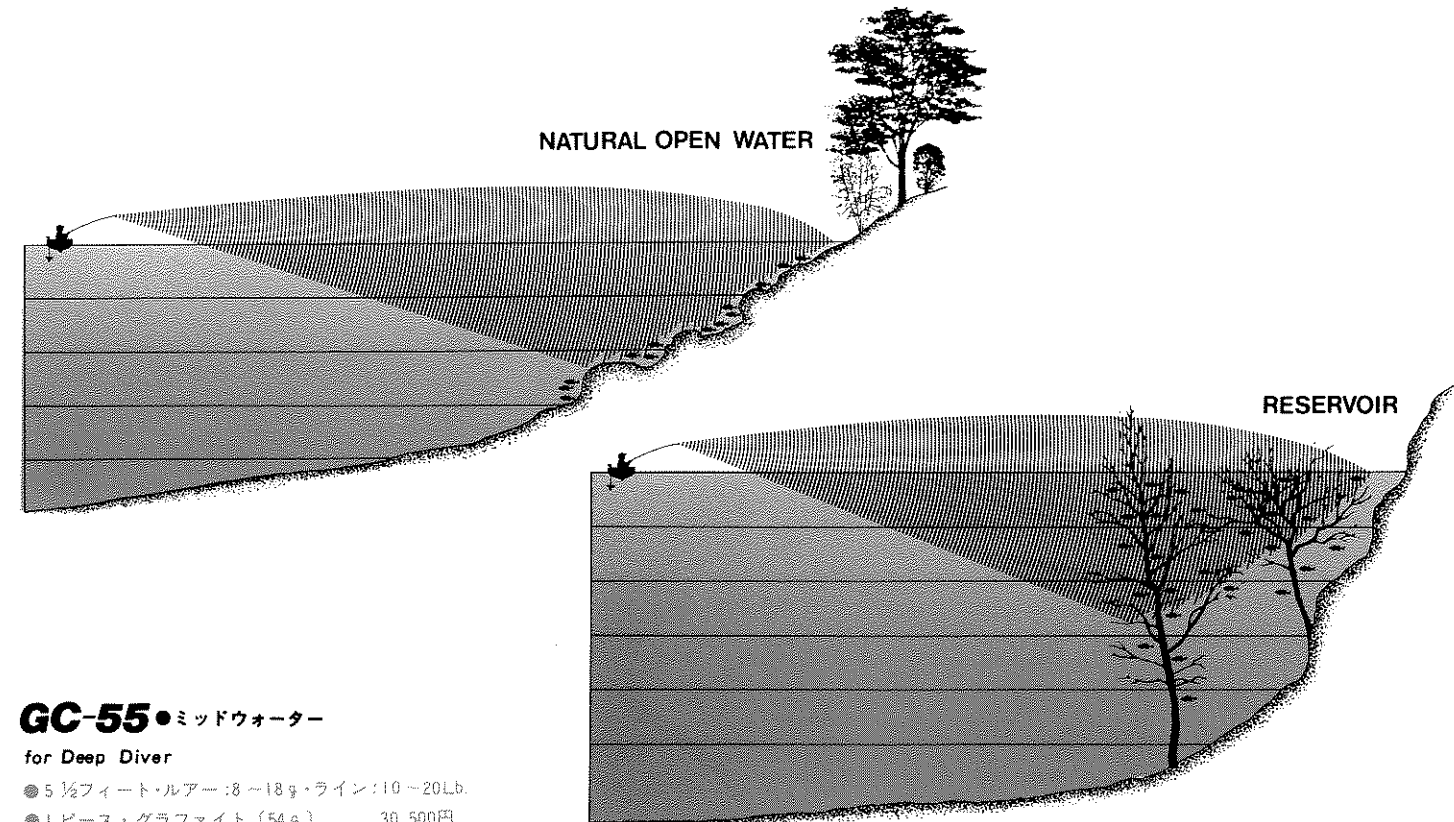
GL-60UL ● ミッドウォーターレンジライト for Sinking Vibration

● 6 フィート・ルアー: 8-14g・ライン: 8-15Lb.
● 1 ピース・グラファイト [58.5g] 31,500円

キャストして、まず充分に沈めて、アクション。といっても、このプラグの場合、バスに追われた小魚が、一生懸命に逃げている演出が、いちばんいいわけで、バスは猛スピードで逃げる小魚を見ると、条件反射的に跳びかかるのです。

したがって、沖合いから岸辺に向かって、やや斜めにロングキャストする。そのためにはロッドは、あまりファストテーパーではないほうがいいのです。アクションは、水平のリトリート。バイブレーションプラグにはリップもないし、

ボディも偏平ですから、ファストリトリートにしてもそれほど強い抵抗はないわけで、テーパーはスロー気味でも大丈夫。それに、このくらいのテーパーでないと、せっかくのバイブレーションが、いきいきしなくなるのですね。



GC-55 ● ミッドウォーター for Deep Diver

● 5 1/2 フィート・ルアー: 8-18g・ライン: 10-20Lb.
● 1 ピース・グラファイト [54g] 30,500円

なにしろ、ボディと水平に、長いリップが突き出ている。これが水の抵抗を受けて、ぐいぐい潜る能力を生み出しているわけですから、じつに大きな力が、ロッドにはかかってきます。だからロッドには、バットとベリーの張りが不

可欠です。これがないと、リトリート時の最後にロッドはルアーの抵抗でベリーから曲がってしまっ、ストライクを感知することができなくなってしまうのです。といって、キャストの距離を生み出すた

めには、チップからベリーにかけての粘りが欲しい。つまり、あまりファストテーパーであっては、困る。この矛盾を解決したのは、ロッドの長さでテーパーの相関関係の追求でした。ロングキャストが可能な、パワーロッドです。

同じトップウォーターでも 人造湖はロッドに精度を求める。

人造湖は、岸辺近く、辺地いっぱい、バスが隠れ家に利用できるオブジェクトが多いという点では、自然湖の比ではありません。

倒木がある。流木がある。立木がある。それも、根元の近くが水に隠れている立木がある。木のほとんどが水の中に沈んでいて、梢の先だけ見えている、そんな立木がある。切り株がある。ブッシュがある。くずれた崖がある。岩がある。流れ込みがある。石段がある。

トップウォーターバッシングをする身にとっては、

うずうずしてくるようなスポットが、ほんとうに次から次へと連なっているバスポンドが、少なくないのです。

ただし、そのような、辺地いっぱいのスポットは、たいてい、水の中に幹を沈めた立木の枝でガードされているのです。あるいは、上から大きくおおいかぶさっている木に、守られています。ゲームをするためには、まずはこの立木の間を正確に通して、あるいはおおいかぶさる木にひっかけないで、狙ったスポットに、プラグをポ

トンと、軽やかに、自然に、着水させなければならぬわけです。

ただし、幸いなことに、隠れ家がこれだけ多いから、よほどいじめぬかれてすっきりしたバスポンドは別として、人造湖のバスは自然湖のバスほどには、警戒心が強くない。それに水の透明度も、たいていはあまり高くはない。だから、ある程度まで近づいても、いいのです。人造湖のトップウォーターバッシングでの絶対的条件は、精度。30cmと狙いを外さない精度です。

FO-60 ● リザーバースティック for Reservoir Topwater Plugging

- 6フィート・ルアー: 17~17g・ライン: 8~15Lb
- 1ピース・グラス(62g) 21,000円

人造湖でプラグをキャストする距離は、15mぐらいです。だから問題は、この延距離を、いかにゆるやかに、正確にプレゼンテーションできるか、になる。この条件を考え合わせると、材質は、粘りがある、グラス。長さは6フィート。精度を優先して、ワンピース。キャストのゆるやかさ、プラグ演出の微妙さを考えると、どうしてもスローテーパー。トラブルの処理を考慮する程度のパワー。となると、こうなります。

FO-55L ● リザーバーライト for Reservoir Topwater Light Plugging

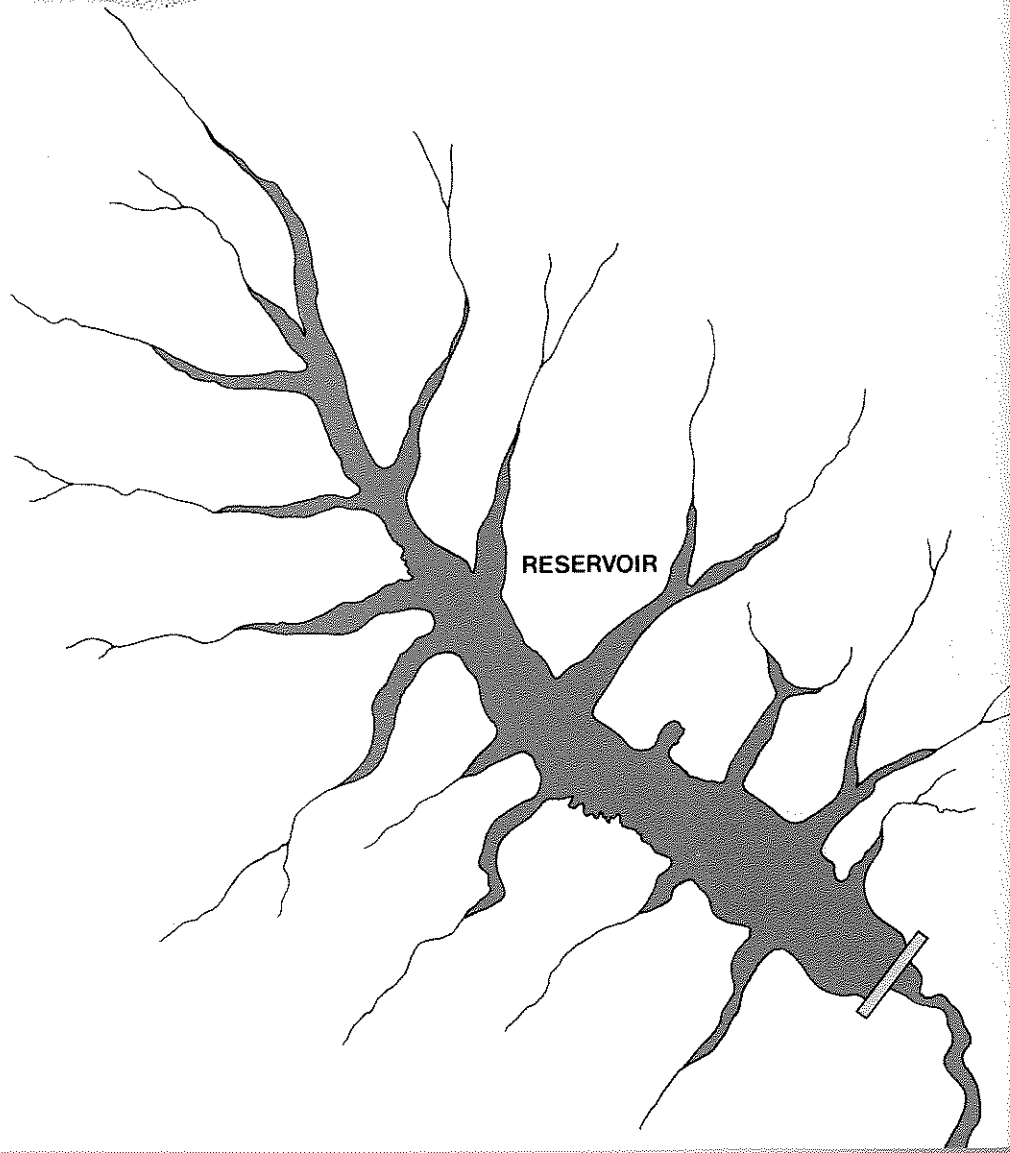
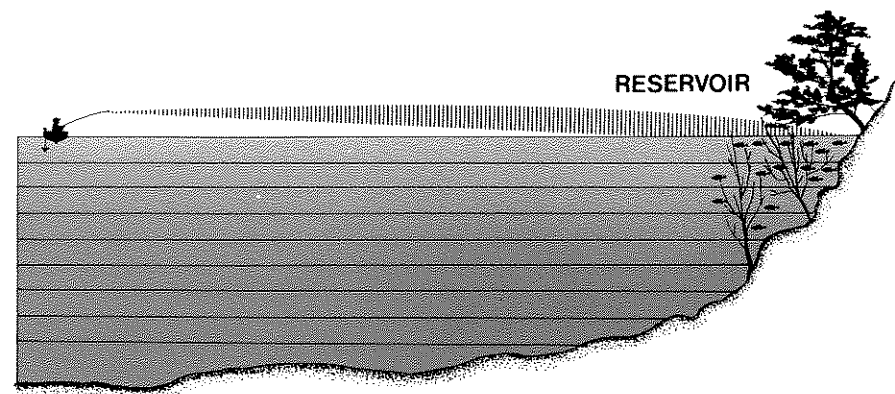
- 5½フィート・ルアー: 15~12g・ライン: 8~12Lb
- 2ピース・グラス

絶望的に入り組んだ立木の中。ブッシュの奥の奥。入れかわり立ちかわり攻めぬかれたバスポンドでは、もうトップウォーターバッシングができるスポットは、そんなところになった、といわれます。そんなくらいだから、プラグもいちだん小さく、軽いものを使わざるを得ない。そういうバスポンドアタッカーのために設計したロッドです。長さも短かく、5½フィート。持ち運びの便利さを重視して2ピースにしました。

SC-2 ● リザーバー for Reservoir Topwater Plugging

- 6フィート・ルアー: 17~18g・ライン: 8~15Lb
- 1ピース・カーボナイト(45g) 39,800円

バスポンドが増加するにつれて、同じ人造湖でも多様になってきました。立木やブッシュなどが要求するキャスト精度のきびしさは相変わらずですが、その上に、自然湖なみの透明度の高さで、ロングキャストをも求める所があるのです。そうすると、テーパー設計の基本思想はそのまま、素材を変えて対応するしかなくなります。カーボナイトのロッド。力の抜けがスムーズで正確な、ぶれのないロングキャストが可能です。



同じトップウォーターでも、 リリーパッドはロッドに強さを求める。

リリーパッドやウィードベッドができるということは、その池が遠浅で、水位が変化していないということなのですね。それだけでも、もうバスにとっては好ましい環境なわけですが、こういう池には、必ず、プランクトンや底生動物がたっぷりいる。それを餌に生きている水中動物たちも、当然、たくさん集まってきます。その水中動物たちは、すべて、バスの餌になる連中なのです。おまけに、ここにはリリーパッドやウィードベッドの葉陰という、大好きな隠

れ家が、そこいら中にある。バスはどこにでも潜んで、近寄ってくる間抜けな餌を、自由に獲ることができる。その上、ここは、水中の酸素もじつに豊富なのです。バスが繁殖しないわけがありません。

さて、しかし問題は、このバスとのゲームです。なにしろ水中は、ハスやヒシモなどがびっしり生えたジャングルです。水中でのゲームは当然考えられないわけで、やるなら、トップウォーターバッシング。それも、つねに藻とのたたかい

を前提にしたゲームということになります。使うプラグは、ご存じの、あの藻にかからない工夫を施した、軽いソフトな、シングルフックウィードガード。藻にかかりにくいくらいだからバスの顎にもかかりにくい。やっとなって、ストライクを取っても、ちょっとタイミングが遅ければ、バスはたちまちジャングルの中に逃げこんでしまいます。そうなるともう、根比べです。焦らず粘って、厚い藻の中からバスを引き抜く。その充実感は、比べるものなし、です。

FL-59 ● リリーパッドハスキー for Lilypad Bassing

- 6フィート・ルアー: 10~21g ライン: 12~25Lb
- 1ピース・グラス(83g) 21,000円

太いラインとベイトリール。これはリリーパッドバッシングに不可欠なのですが、しかもこれで軽いプラグをロングキャストしなければならないのです。ロッドにはトルクがどうしても必要で、だから、全体にパワーを秘めた太いロッドではあっても、スローテーパーになります。パワーゲームを考えると、当然、ワンピースのほうが安心です。ボートでの使用を想定しているので、このロッドはややライトな設計です。

FL-59H ● リリーパッドハスキーII for Heavy Lilypad Bassing

- 6フィート・ルアー: 14~28g ライン: 12~25Lb
- 1ピース・グラス(103.5g) 21,000円

ボートからではなく、岸からのバッシング。リリーパッドバスポンドでは、こういうことも多いのです。シングルフックウィードガードの軽いプラグや、空気抵抗の大きいソフトプラグをロングキャストできるトルクと、藻のジャングルの中に逃げこんだバスを、容赦なくがっしり引き抜くパワーを併せ持たせると、こうなります。6フィート・1ピース。太いスローテーパーロッド。グリップは、セミダブルハンドル。

GL-62H ● マグナムハスキー for Super Heavy Lilypad Bassing

- 6フィート・ルアー: 14~28g ライン: 12~30Lb
- 1ピース・グラファイト(80.3g) 33,300円

これはむしろ、リリーパッドでのバッシングというよりは、ライギョとのゲームのためのロッドと考えていただいて、いいでしょう。店頭で手にしてみただけでは「棒みたい」に感じるかもしれませんが、厚いウィードベッドの中で、80~100cmのライギョを本気で取ろうと考えたら、この強さがあるのです。もちろん、軽いプラグのロングキャストのために、トルクをたっぷり秘めた、グラファイト素材のスローテーパーです。

